

左手の上下移動第4段階 プレリュード第1番 2016年発表会用教材

音をつなげることをめざしましょう。

1つ目の音を押さえた後、それを弾く前に2つ目の音を押さえる準備をしましょう。

「指を弦の真上に準備」と書いてあったら、その指の弦を押さえる場所が弦の真上に来るようにしましょう。

下の位置(1弦)にある弦から上の位置にある弦への移動は、脱力による指の開きで行います。

上の位置(6弦)から下の位置にある弦への移動は、指の関節をたたむことで行います。

6-7小節  
右手の練習

1つ目の和音を弾く前に必ずpを持ち上げておく。

4弦を確実に弾けない場合、pの回転を大きくする。

10 《指を離すタイミングの練習》

1234・・・と数えながら練習する。

リズム5の直前に2の力を抜き、指を弦から浮かせる。

2を畳み、3弦の真上に2の弦を押さえる場所を準備し、2つ目の和音を弾く。

この動作を始めはゆっくりと、段々と滑らかに速くしていく。

10-11

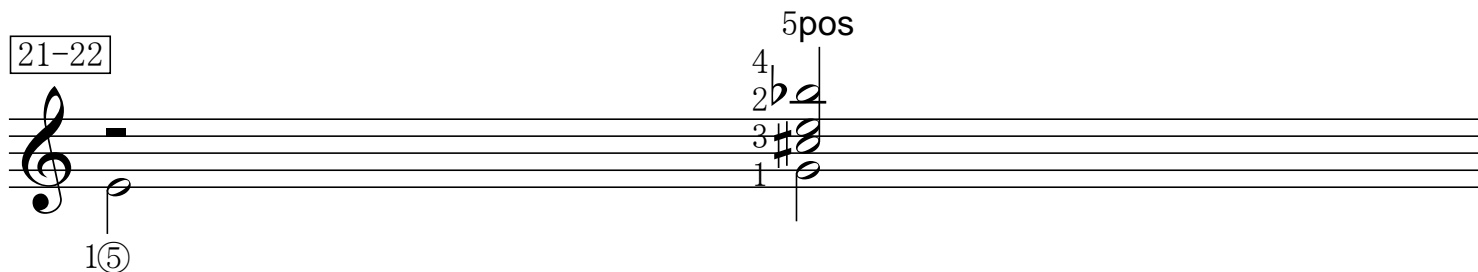
1234・・・と数えながら練習する。

1つめの和音を弾く前に4の指先を3弦の真上に準備しておく。

リズム5の直前、123の指の力を抜き、フレットから弦が離れたと同時にポジション移動を開始する。

移動する前に移動先を見て、ブレーキをかける場所(5弦2フレットの少し右側)を把握しておく。

21-22

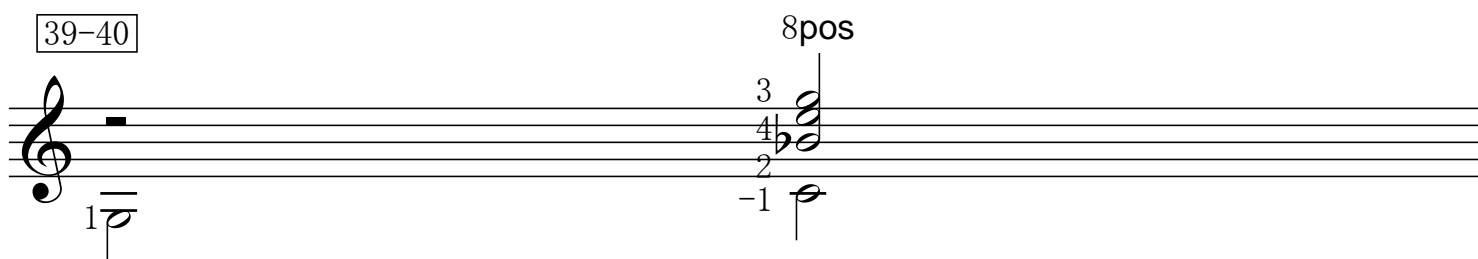


1(5)

5pos

1つ目の和音を弾く前に4の指先を1弦、2の指先を2弦、3の指先を3弦の真上に準備しておく。  
2つ目の和音を弾くためのポジション移動で、準備した指がずれないように細心の注意を払う。  
少しでも上下がずれていると、この先、数小節に影響するので丁寧に練習する。  
左から右へのポジション移動の動きがとても大事。

39-40

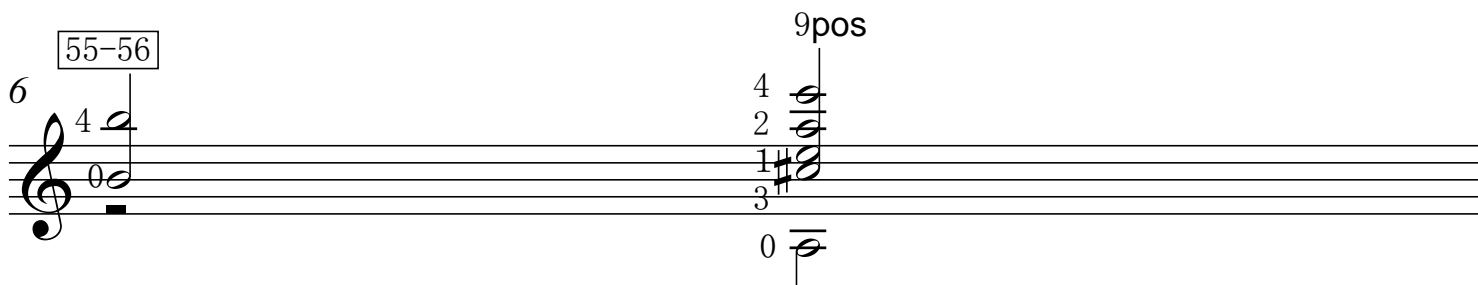


1

8pos

1つ目の和音を弾く前に3の指先を2弦、4の指先を3弦、2の指先を4弦の真上に準備しておく。  
2つ目の和音を弾くためのポジション移動で、準備した指がずれないように細心の注意を払う。  
左から右へのポジション移動の動きがとても大事。

55-56

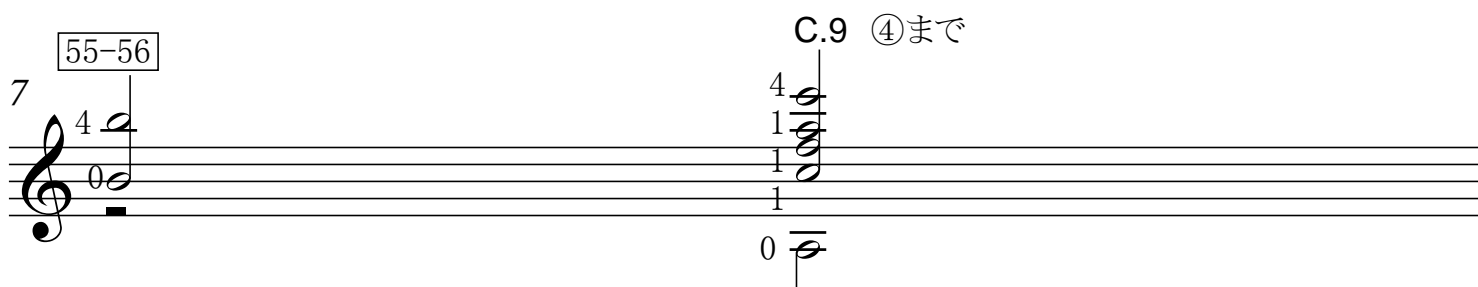


6

9pos

1つ目の和音を弾く前に2の指先を2弦、1の指先を3弦、3の指先を4弦の真上に準備しておく。  
2つ目の和音を弾くためのポジション移動で、準備した指がずれないように細心の注意を払う。  
左から右へのポジション移動の動きがとても大事。

55-56



7

C.9 ④まで

1つ目の和音を弾く前に1の力を抜き、4弦までのセーハの形を作る。  
セーハを伴うポジション移動では、ブレーキをかける場所からひじを曲げ、肩の力を抜くことが大事。